水産研究・教育機構 機関リポジトリ
FRA Japan Fisheries Research and Education Agency Institutional Repository

水産総合研究センター(旧日本栽培漁業協会)によるクロマグロ栽培漁業技術の開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 升間, 主計 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010446

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.

水産総合研究センター（旧日本栽培漁業協会）によるクロマグロ栽培漁業技術の開発

升間主計

水産総合研究センター（旧日本栽培漁業協会）八重山事業場では 1985 年から 1997 年まで沖縄県石垣島においてクロマグロの親魚養成・種苗生産技術開発を行った。幼魚は活魚船によって長距離（1,300 ～ 1,500km），長時間（74 ～ 113 時間）輸送され，親魚養成されたが，産卵には至らなかった。亜熱帯海域での成長は本土に比べて極めて早いことを示した。奄美栽培漁業センターは鹿児島県奄美大島において 1994 年から取り組みが始まった。1997 年から毎年産卵に成功している。そのなかで，養成下での本種の産卵生態，行動に関する研究を進め多くの知見が得られた。また，種苗生産では餌料系列，飼育水管理，VNN 防除法等に関する技術開発が進められた。本報は，日本栽培漁業協会・水産総合研究センターの研究開発によって得られた 20 年間の成果について取り纏められた。

水産技術，**1**(1)，21-36，2008